

Solstice リリースノート（履歴）

Solstice バージョン 4.6

2020/05

新機能

- **Miracst ストリーミングサポートのアップデート**
企業向けに対応した完全暗号化（スクリーンキーのサポート追加）の Miracast をサポートしました。これにより、企業のネットワーク内で安全な Miracast ストリーミングを実行できます。
- **AirPlay での Bluetooth 探索機能のサポート**
Solstice アプリから AirPlay で接続を行う際に、Bluetooth を使用して Solstice ディスプレイを探索できるようになりました。これにより、Solstice アプリと Solstice Pod 本体が同一ネットワークに存在しなくても、Bluetooth を介して近くにある Solstice ディスプレイを見つけることができるようになります（コンテンツの共有には、従来どおり Solstice アプリと Solstice Pod が特定のポートで通信できる必要があります）。この機能は Solstice Pod(Gen3)でのみ使用できます。

修正点と機能強化

Solstice Pod の無線アクセスポイント機能を使用するときに、5GHz 帯で使用できるチャンネルが追加されました。無線チャンネルの設定は Solstice Dashboard で行えます。

解決された問題

- ・モデレートセッションを使用するとき、モデレータは Solstice アプリから他のユーザーのすべての制御が行えるようになりました。

ソフトウェアアップグレードの可用性と要件

Solstice Ver.4.6 ソフトウェアへのアップデートは、以下の製品で利用できます。

- ・Solstice Pod
- ・各デバイス向けの Solstice アプリ
- ・Solstice Dashboard

Solstice Pods を最新のバージョン 4.6 にアップグレードするには、Solstice サブスクリプションが必要で

Solstice リリースノート(履歴)

す。アップデートについて、Solstice Pod 本体がインターネットに接続されている場合は、構成パネルまたは Dashboard から直接アップデートが可能です。インターネットに接続されていない場合は、Mersive 社の Web ページからアップデートファイルをダウンロードし、PC からアップデートすることができます。詳細は各種ドキュメントを参照してください。

Solstice バージョン 4.5(18332) 2020/03

新機能

- **Solstice Active Learning への対応**

「Solstice Active Learning」は、アクティブラーニングルーム向けに特化した映像コントロールアプリケーションです。Solstice Pod が複数導入されている環境において、アクティブラーニングの運用を促進します。Solstice Active Learning を使用するには、Solstice Pod(Gen3)と Active Learning サブスクリプションが必要(※)です。

※ご要望の際は、弊社 HP 又は営業担当者へお問い合わせ下さい。

- **ディスプレイの電源操作機能の追加**

Solstice Dashboard の設定により、Solstice Pod が接続しているディスプレイに対して RS-232C コマンドを送信してディスプレイの電源をオン/オフすることができるようになりました。RS-232C のコマンドを設定すると、Solstice Pod はそれらのコマンドを HDMI 映像の信号出力開始時および停止時に使用します。RS-232C コマンドは ASCII コードと HEX コードが使用できます。

- **ホスト名での Solstice ディスプレイ指定**

Solstice クライアントアプリから、Solstice Pod に設定されたホスト名を使って接続できるようになりました。使用するためには、Solstice Pod のホスト名および IP アドレスが DNS サーバに登録されており、名前解決ができる環境である必要があります。

- **Solstice Pod(Gen2i)の仮想メモリ強化**

Solstice Pod(Gen2i)で使用する仮想メモリの量が削減され、利用可能な仮想メモリスペースが増加したことで、安定性が向上しました。

- **Web ブラウザ共有機能の対応ブラウザに Microsoft Edge を追加**

Ver.4.4 から追加された Solstice アプリを使わず Web ブラウザから共有する機能について、Microsoft Edge をサポートするようになりました。対応するバージョンは「Ver.80.0 以上」で、Chromium ベースの Edge です。

- **スプラッシュ画面の調整**

Solstice Pod のスプラッシュ画面のテキスト配置やアイコン等のデザイン・レイアウト調整を行いました。

解決された問題

- ・カレンダー機能を有効にしている場合、スプラッシュ画面にどれだけ利用できるか正しく表示するようになりました。
- ・Solstice Pod に接続する PC のディスプレイ設定におけるスケーリングが 100%を超える場合、デスクトップ共有時にマウスカーソルの位置が Solstice ディスプレイ上で正しく表示されないことがある問題を修正しました。
- ・デジタルサイネージ機能を有効にしている場合、表示するサイネージがフルスクリーンのときに正しく表示されないことがある問題を修正しました。
- ・iOS 12.3.2 を使用しているデバイスにおいて Solstice アプリを使用する場合、スクリーンキー入力時に日本語キーボードを使用するとアプリがクラッシュすることがある問題を修正しました。

ソフトウェアアップグレードの可用性と要件

Solstice Ver. 4.5(18332) ソフトウェアへのアップデートは、以下の製品で利用できます。

- ・Solstice Pod
- ・各デバイス向けの Solstice アプリ
- ・Solstice Dashboard
- ・Solstice Discovery Service (SDS)

Solstice Pods を最新のバージョン 4.5 にアップグレードするには、Solstice サブスクリプションが必要です。アップデートについて、Solstice Pod 本体がインターネットに接続されている場合は、構成パネルまたは Dashboard から直接アップデートが可能です。インターネットに接続されていない場合は、Mersive 社の Web ページからアップデートファイルをダウンロードし、PC からアップデートすることができます。詳細は各種ドキュメントを参照してください。

Solstice バージョン 4.4(17326) 2020/01

新機能

- **Solstice アプリを使用しない、Web ブラウザによる共有機能の追加**

Solstice クライアントアプリを使用せず、Web ブラウザのみで Solstice ディスプレイに接続およびコンテンツの投射が可能になりました。これにより、従来 Solstice クライアントアプリをインストールできなかった Chromebook、Linux、およびインストール権限を持たないゲストユーザーでも、Solstice による共有が可能になりました。**この機能を使用するには、まず Dashboard で [外観と使用方法] > [Browser Sharing] にチェックを入れます (デフォルトでは無効になっています)**。ユーザーは PC のブラウザに Solstice Pod のアドレスを入力してアクセスし、が画面上に表示されるリンクをクリックして接続します。本機能は Gen3 および Gen2i の Solstice Pod で使用でき、Firefox および Google Chrome のみサポートしています。

*Web ブラウザ共有はモバイルデバイスでは使用できません。またデスクトップオーディオの共有については、現時点ではサポートしていません。モバイルデバイスでの使用およびオーディオの共有が必要な場合は、Solstice クライアントアプリを使用してください。

- **アプリケーション共有時のアプリ選択画面のリスト化**

Solstice クライアントアプリを使ってアプリケーション共有を行うとき、共有できるアプリがリストで表示されるようになりました。選択したアプリは自動的にデスクトップの最前面に表示されます。すでにアプリケーション共有がされているアプリは、重複を防ぐためにリストには表示されません。

- **デジタルサイネージ使用時のキャッシュデータ量の増加**

より大きなサイネージコンテンツに対応するために、デジタルサイネージにおけるキャッシュ容量を 1GB に増加しました。これにより、更に大きなコンテンツをサイネージとして試用できるほか、サイネージ表示を実行するために必要なネットワーク帯域も削減されました。

- **OpenControl API の更新**

すでに実装済みの API [serial-passthru] を使用して Solstice Pod が接続されているディスプレイに RS-232C の要求を送信すると、Solstice Pod はディスプレイの応答を JSON 応答として返すようになりました。

- **HDMI In ポートの新モード追加**

Gen3 モデルの Solstice Pod のフロントにある HDMI In ポートに、新しい機能「Persistent」が追加されました。この機能を有効にすると、HDMI In ポートに入力されている映像ソースは、その Solstice Pod に何もコンテンツが投射されていないとき、常にフルスクリーンで Solstice ディスプレイに表示されるようになります。この機能を使用するには、Dashboard の [外観と使用方法] >

[HDMI Input Mode]で「Persistent Post」を選択します。

Standard Port (デフォルト) :

HDMI In に入力した映像コンテンツは、クライアントアプリから共有したときと同様に、Solstice ディスプレイのひとつのコンテンツとして扱われます。

Persistent Post:

HDMI In に入力した映像コンテンツは、その Solstice Pod に投射されているコンテンツがなにもないとき、常に Solstice ディスプレイにフルスクリーンで表示されます。ユーザーが Solstice Pod に接続しコンテンツの投射を行うと、HDMI In に入力した映像コンテンツは自動的に非表示ドックに移動します。他のユーザーのすべての投射が削除されると、再度フルスクリーンに戻ります。

* Persistent Post を使用している場合、HDMI In に入力された映像コンテンツを、他のユーザーが削除することはできません。削除するには HDMI ケーブルを外してください。

- **Solstice Local Release(SLR)更新のセキュリティ強化**

Solstice Pod のネットワーク暗号化が有効になっている場合、Dashboard は https(TCP:443) を使用して Solstice Pod に SLR ソフトウェアの更新を送信するようになりました。

- **ディスプレイ電源管理機能の追加**

すべてのユーザーが Solstice Pod から切断すると、すぐに HDMI 出力の信号を停止することができるオプションが追加されました。

- **Dashboard 上での Solstice Pod 再起動オプションの整理**

混乱を避けるため、Dashboard の[システム]タブにおける再起動ボタンのうち、ソフトウェアのリスタートのみを行う再起動ボタンが削除されました。Pod のハードウェアとソフトウェアの両方を再起動 (リブート) する再起動ボタンは引き続き使用できます。

- **Dashboard での CSV ファイルエクスポート時の情報追加**

Dashboard で Solstice Pod の一覧を CSV ファイルにエクスポートしたとき、各 Solstice Pod の MAC アドレスとソフトウェアバージョンが追記されるようになりました。

解決された問題

- ・Solstice Pod が既存の無線ネットワークに接続する設定になっているとき、その無線ネットワークに接続できない場合に Solstice Pod が再起動する不具合を修正しました。
- ・Solstice クライアントアプリ (macOS 版) をインストールしたときに、macOS 用のオーディオドライバが正しくインストールされないことがある不具合を修正しました。

Solstice リリースノート(履歴)

- Solstice Pod に固定 IP アドレスを設定する場合、「DNS 2」のフィールドに設定した値が正しく反映されないことがある不具合を修正しました。
- Solstice クライアントアプリを使用して HDMI In に接続されている投射を削除したとき、オーディオが自動的にミュートされるようになりました。
- ローカル無線ネットワークに Solstice Pod が接続されている場合、Dashboard に WAP での運用時
にのみ使用できるファイアウォール設定が表示されなくなりました。

ソフトウェアアップグレードの可用性と要件

Solstice Ver.4.4(15176)ソフトウェアへのアップデートは、以下の製品で利用できます。

- Solstice Pod
- 各デバイス向けの Solstice アプリ
- Solstice Dashboard
- Solstice Discovery Service (SDS)

Solstice Pods を最新のバージョン 4.4 にアップグレードするには、Solstice サブスクリプションが必要です。アップデートについて、Solstice Pod 本体がインターネットに接続されている場合は、構成パネルまたは Dashboard から直接アップデートが可能です。インターネットに接続されていない場合は、Mersive 社の Web ページからアップデートファイルをダウンロードし、PC からアップデートすることができます。詳細は各種ドキュメントを参照してください。

Solstice バージョン 4.3(15966) 2019/11

修正点と機能強化

任意のブルートフォース攻撃からのセキュリティ防衛強化

解決された問題

- Solstice Pod のクラッシュの原因と取りうるサインージ機能に関連する問題を解決しました。
更に、Solstice Dashboard は、デジタルサインージが無効になったことを誤って報告しなくなりました。
- ディスプレイ電源管理機能が有効になっている場合、Pod は正常に起動します。
- ディスプレイ電源管理機能が有効になっている場合、2 画面接続した時に Pod が正常に出力されるようになりました。
- Solstice Pod の HDMI 入力を介して接続されたラップトップがスリープモードになり、すぐに復帰すると、ラップトップの画面が Solstice ディスプレイ上に黒い投稿として表示されなくなりました。
- OSX ユーザーがデスクトップ音声を Solstice ディスプレイにストリーミングできるようにする Mac 音声ドライバーが、Mac バージョンの Solstice アプリからインストールされるようになりました
- SDS から Solstice アプリで検出されたディスプレイの情報量の大きなリストを読み込むのに必要な時間が短縮されました。
- Solstice アプリが Windows 8.1 で正常に作動するようになりました。

既知の問題点

macOS Catalina での Solstice アプリデスクトップ共有時の音声出力はサポートしておりません。

ソフトウェアアップグレードの可用性と要件

Solstice Ver.4.3(15966)ソフトウェアへのアップデートは、以下の製品で利用できます。

- Solstice Pod
- 各デバイス向けの Solstice アプリ
- Solstice Dashboard
- Solstice Discovery Service (SDS)

Solstice Pods を最新のバージョン 4.3 にアップグレードするには、Solstice サブスクリプションが必要です。アップデートについて、Solstice Pod 本体がインターネットに接続されている場合は、構成パネルまたは Dashboard から直接アップデートが可能です。インターネットに接続されていない場合は、Mersive 社の Web ページからアップデートファイルをダウンロードし、PC からアップデートすることができます。詳細は各種ドキュメントを参照してください。

Solstice バージョン 4.3(15176) 2019/10

新機能

- **HDMI 入力の音声サポート**

Solstice Pod (Gen3)は HDMI 入力を介して共有する際にオーディオストリーミングをサポートしました。

エンタープライズ版の新機能

- **OpenControl API の新機能**

- ◆ **RS-232C 対応ディスプレイへの RS-232 コマンド送信**

接続されているディスプレイの電源や音量、入力信号切り替え等の制御操作を、Solstice Pod 本体から RS-232C を使って制御できるようになりました。Solstice Pod とディスプレイの接続は、USB-シリアル変換アダプターとクロスケーブルを使用して接続します。この機能は、RS-232 コントロールをサポートするディスプレイでのみ機能します。ディスプレイの制御コマンドについては、ディスプレイの制御マニュアルを参照してください。

※ディスプレイの制御を行うためには、事前に検証が必要です。ご要望の際は別途ご相談ください。

- ◆ **API を使用して、802.1Q VLAN タギングを構成する機能**

API を使用して、Pod に対する VLAN タギングを設定できるようになりました。

修正点と機能強化

MSI ファイルを使ったインストール時に、オプションとしてユーザー名を追加することができるようになりました。

解決された問題

- ・デスクトップ版 Solstice アプリで Microsoft Edge ブラウザをアプリ共有した際、正しく動作しない不具合を修正しました。
- ・ディスプレイ電源管理とデジタルサイネージの両方が有効になっている場合、特定の条件で指定した機能が正しく動作しない不具合を修正しました。
- ・Google Pixel 2 (Android スマートフォン) に Solstice アプリをインストールした際、Solstice Pod に正しく接続できない不具合を修正しました。

既知の問題点

・iOS13.x / iPadOS 13.x において Solstice アプリを起動すると、アプリ内の一部の文字が文字化けする不具合を確認しています。

※本事象は、最新版の iOS 版 Solstice アプリで既に解決しております。

ただし、iOS13.x / iPadOS 13.x へアップデート後、2019/10/04 までにインストールされた Solstice アプリで発生する可能性があります。

Solstice アプリのアップデート、もしくは、Solstice アプリアンインストール後、再インストールにより解消されます。

Solstice Dashboard リリースノート

● プレゼンスバーを常に表示するオプション

コラボレーションセッション中にプレゼンスバー（ディスプレイ名、IP アドレスが表示されるバー）を画面の下部に保持するように設定できるようになりました。これにより、すでにユーザーがコンテンツを共有中であっても、まだ Solstice Pod へ接続していないユーザーがディスプレイに接続しやすくなります。デフォルトでは、ワイヤレスまたは有線のユーザーがディスプレイに投射すると、ディスプレイ下部に表示されるプレゼンスバーが最小化されます。（[外観と使用方法]タブ> [クイック接続]）。

● 接続されたネットワーク毎に DNS ホスト名を追加するオプション

Solstice ディスプレイに表示される Solstice Pod 本体の IP アドレスを DNS ホスト名に手動で置き換えることができるようになりました。この設定を行うと、ユーザーは IP アドレスではなくホスト名を入力して、Solstice へのアクセスが可能になります。ネットワーク管理者は、まず DNS サーバアドレスを Solstice Pod に設定し、DNS サーバに対して Pod の IP アドレスを名前解決するための DNS エントリを入力する必要があります。

● プロキシサーバーの除外

Solstice Pod 本体の Web サーバプロキシ設定で、Pod と同一ネットワークへのアクセスを行う場合、プロキシサーバーを経由せずに通信ができるようになりました。

また、管理者はプロキシサーバーの除外リストを追加できるようになりました（[ネットワーク]タブ> [Web サーバプロキシ]）。

ソフトウェアアップグレードの可用性と要件

Solstice Ver.4.3(15176)ソフトウェアへのアップデートは、以下の製品で利用できます。

- ・Solstice Pod
- ・各デバイス向けの Solstice アプリ

Solstice リリースノート(履歴)

- Solstice Dashboard
- Solstice Discovery Service (SDS)

Solstice Pods を最新のバージョン 4.3 にアップグレードするには、Solstice サブスクリプションが必要です。アップデートについて、Solstice Pod 本体がインターネットに接続されている場合は、構成パネルまたは Dashboard から直接アップデートが可能です。インターネットに接続されていない場合は、Mersive 社の Web ページからアップデートファイルをダウンロードし、PC からアップデートすることができます。詳細は各種ドキュメントを参照してください。

Solstice バージョン 4.2(14160) 2019/8

エンタープライズ版の新機能

- **IEEE 802.1Q VLAN タギングによるマルチネットワークサポートの拡張**

Pod の有線ネットワークのインターフェースで、IEEE 802.1Q VLAN タギング機能が使用できるようになりました。通常のタグなし VLAN の他、最大 3 つのタグ付き VLAN のトラフィックを使用して通信ができるようになりました。Pod が複数の VLAN をサポートすることで、利用するユーザーがそれぞれ異なる VLAN セグメントに接続している状態であっても、VLAN 間でルーティングを設定することなくコンテンツを共有できるようになります。

Pod 検索に SDS を使用する場合は、VLAN ごとにそれぞれ SDS が必要になります。

修正点と機能強化

ネットワークパフォーマンスを最大化するために、Solstice アプリと Pod 間の使用帯域幅が削減されました。

解決された問題

- ・Android 版アプリでデバイスの位置情報へのアクセスが拒否された場合に、アプリがフリーズする問題を修正しました。
- ・MacOS 版アプリインストール後、場合によってアプリが正常に動作しなくなる問題を修正しました。
- ・HDMI スイッチャーを使用した場合に、デジタルサイネージのフィードが正しく表示されない問題を修正しました。
- ・4K ディスプレイへの出力時、RSS フィードが見切れてしまう問題を修正しました。

Solstice Dashboard リリースノート

- **802.1Q VLAN タギングネットワーク構成**

イーサネットインターフェース ([ネットワーク]タブ> [VLAN 設定]) の設定で、接続されたスイッチポートのデフォルト VLAN に加えて、最大 3 つの VLAN に接続するように構成できるようになりました。

ソフトウェアアップグレードの可用性と要件

Solstice Ver.4.2(14160)ソフトウェアへのアップデートは、以下の製品で利用できます。

- ・Solstice Pod
- ・各デバイス向けの Solstice アプリ
- ・Solstice Dashboard
- ・Solstice Discovery Service (SDS)

重要事項 : バージョン 4.2 の Pod が設置されている環境の場合、SDS はバージョン 3.1 以降が必須になります。SDS を使用している環境で Pod のバージョンを 4.2 にバージョンアップする場合は、SDS も合わせてバージョンアップしてください。また、Pod の Web ページにアクセスして MacOS 版アプリをダウンロード/インストールしたユーザーは、アプリのアップデートの通知を受け取るために、バージョン 4.2 のアプリを手動でインストールする必要があります。

Solstice Pods を最新のバージョン 4.2 にアップグレードするには、Solstice サブスクリプションが必要です。アップデートについて、Solstice Pod 本体がインターネットに接続されている場合は、構成パネルまたは Dashboard から直接アップデートが可能です。インターネットに接続されていない場合は、Mersive 社の Web ページからアップデートファイルをダウンロードし、PC からアップデートすることができます。詳細は各種ドキュメントを参照してください。

Solstice バージョン 4.1(13252) 2019/6

新機能

- **Solstice Pod の再起動オプション追加**

Solstice Pod の再起動をスケジュール化して、定期的に Solstice Pod 本体を再起動する設定が追加されました。これにより、管理者は Solstice Pod を毎日決まった時間に自動的に再起動することができ、システムパフォーマンスを最大限に活かせるようになります。

- **Solstice Pod (Gen3)の有線 HDMI 入力の改善 (Gen3 のみ)**

Solstice Pod (Gen3)に搭載されている HDMI 入力ポートの機能を改善し、様々な HDMI アダプタをサポートするようになりました。

※Apple 社の USB-C/HDMI 変換アダプタなど、一部のアダプタはまだサポートされておらず、接続してから映像が表示されるまで遅延が発生することがあります。

- **Miracast の機能強化**

Miracast の接続機能を改善しました。Miracast による Solstice ディスプレイへの投射時のパフォーマンスを向上しています。

- **Solstice Pod の OTA 更新の改善**

Solstice Pod 本体ソフトウェアの OTA 更新の際に、HTTPS を利用できるようになりました。

エンタープライズ版の新機能

- **ディスプレイの電源管理サポート (Gen3 のみ)**

Solstice Pod が一定時間アイドルになった後に、Solstice Pod からの HDMI 出力信号を停止することができるようになりました。これにより、Solstice Pod に接続されているディスプレイ側で無信号時の自動スリープを設定することで、夜間など使用している時間が少ないときに、ディスプレイの消費電力を抑えることができます。アイドルによって HDMI 出力信号を停止した場合、アプリから接続を行ったとき、Solstice Pod にキーボード・マウスを接続したとき、緊急メッセージを Dashboard から送信したときに、HDMI 信号の出力を再開します。

- **カレンダー連携時の非公開イベントの非表示対応**

Outlook または Exchange 側で会議が「非公開」とされている場合、Solstice ディスプレイに会議のタイトルと開催者を非表示にするようになりました。

- **カレンダー連携時の更新頻度の設定**

カレンダー連携時の更新頻度の設定

- **スプラッシュ画面のカスタム表示のサイズ変更**

スプラッシュ画面に表示するカスタムメッセージを設定した際、カスタムメッセージの長さにより、自動的にメッセージ表示領域を調整するようになりました。カスタムメッセージに長い文章を入力した場合、カレンダー情報の表示領域を下げ、カスタムメッセージがすべて表示されるよう表示領域を広げるようになりました。

- **OpenControl API のアップデート :**

- ・Solstice Pod の再起動スケジュール管理
- ・Solstice Pod が接続する SSID 情報の削除
- ・カレンダー連携時の更新間隔設定
- ・Solstice Pod の再起動スケジュール管理

修正点と機能強化

- ・クラシックスプラッシュ画面において、白い背景を適用したときに文字が隠れてしまう問題の修正
- ・Solstice Pod のタイムサーバ設定がされている場合でも、デフォルトのタイムサーバに接続を続けてしまう問題の修正。
- ・Solstice Dashboard において、無線ネットワークへの接続時に設定するパスフレーズが 30 文字までしか入らない問題の修正
- ・サインページ機能使用時に、サインページ接続先として指定した URL にアクセスした際にプロキシ設定が適用されない問題の修正
- ・Solstice アプリの安定性とユーザビリティの向上。
- ・Solstice Pod(Gen3)における AirPlay 共有の改善
- ・その他のバグフィックス及び安定性の向上

Solstice Dashboard リリースノート

- **Solstice Pod の再起動オプション追加**

Solstice Pod の再起動をスケジュール化して、定期的に Solstice Pod 本体を再起動する設定が追加されました。これにより、管理者は Solstice Pod を毎日決まった時間に自動的に再起動することができ、システムパフォーマンスを最大限に活かせるようになります。

- **自己署名証明書の読み込み対応**

管理者は、Dashboard を使って自己署名証明書を読み込み、デジタルサインページのソース URL や RSS フィード、Kepler の外部データ接続の際の HTTPS 通信に使用することができるようになりました。

* crt ファイルの PEM 証明のみサポートしています。

- **ディスプレイの電源管理サポート (Gen3 のみ)**

Solstice Pod が一定時間アイドルになった後に、Solstice Pod からの HDMI 出力信号を停止することができるようになりました。これにより、Solstice Pod に接続されているディスプレイ側で無信号時の自動スリープを設定することで、夜間など使用している時間が少ないときに、ディスプレイの消費電力を抑えることができます。アイドルによって HDMI 出力信号を停止した場合、アプリから接続を行ったとき、Solstice Pod にキーボード・マウスを接続したとき、緊急メッセージを Dashboard から送信したときに、HDMI 信号の出力を再開します。

Dashboard では、手動で Solstice Pod の HDMI 出力信号を停止/再開することもできます。

- **カレンダー連携時の更新頻度の設定**

Outlook または Exchange との連携時、Solstice Pod から予定表を参照する頻度を設定できるようになりました。

Solstice Discovery Service (SDS) リリースノート

- **複数のサブネットに分かれた Solstice Pod 管理における機能向上**

SDS の管理下に置いている Solstice Pod が複数のサブネットに分かれている場合、管理者の設定により Solstice Pod をサブネットごとにグループ化できるようになりました。これにより、SDS にアクセスする Solstice アプリは、グループ化された同じサブネット上にあるディスプレイのみを自動探索で表示できるようになりました。

ソフトウェアアップグレードの可用性と要件

Solstice Ver.4.1(13252)ソフトウェアへのアップデートは、以下の製品で利用できます。

- ・Solstice Pod
- ・各デバイス向けの Solstice アプリ
- ・Solstice Dashboard
- ・Solstice Discovery Service (SDS)

Solstice Pods を最新の 4.1 バージョンにアップグレードするには、Solstice サブスクリプションが必要です。アップデートについて、Solstice Pod 本体がインターネットに接続されている場合は、構成パネルまたは Dashboard から直接アップデートが可能です。インターネットに接続されていない場合は、Mersive 社の Web ページからアップデートファイルをダウンロードし、PC からアップデートすることができます。詳細は各種ドキュメントを参照してください。

Solstice バージョン 4.0(11766) 2019/3

新機能 (全ての Solstice Pods)

- **Solstice Ink**

iOS および Android の Solstice アプリで、Solstice Ink が使用可能になりました。Solstice Ink を使用すると、ユーザは自分のスマートフォンから、Solstice ディスプレイにポインタを表示することができ、室内のどこからでも Solstice ディスプレイ上のコンテンツのマークアップができます。Solstice Ink は、モデレータモードでも使用できます。

※Solstice Ink はスマートフォンのみ使用でき、PC、タブレット端末ではサポートされません。

Solstice Ink には 3 つのモードがあります：

- **ポインタ**

Solstice アプリ上の Ink ボタンを押したままにしてスマートフォンを動かすと、スマートフォンをポインタとして使用できます。また Ink ボタンを Solstice アプリの中央にドラッグすると、ボタンから指を離してもスマートフォンがポインタとして動作します。

- **点滅**

Ink ボタンを Solstice アプリの中央にドラッグした状態で Ink ボタンを押すと、ポインタが点滅します。

- **一時的なマークアップ**

Ink ボタンを Solstice アプリの中央にドラッグした状態で、さらに Ink ボタンを押したままスマートフォンを動かすと、Solstice ディスプレイ上にマークアップすることができます。マークアップした線は直線または円に自動補正されます。マークアップした線や図形は、約 5 秒で自動的に消えます。

- **国際言語の拡張**

以下の 10 の言語が、Solstice Pod および各 OS の Solstice アプリ、Dashboard で使用できるようになりました。

アラビア語、オランダ語、韓国語、ノルウェイ語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、スウェーデン語、トルコ語、簡体字中国語

エンタープライズ版の新機能 (Gen3 のみ)

- **Solstice Pod Gen3 プラットフォームのソフトウェアサポート**

v4.0 にて、Solstice Pod Gen3 のハードウェアプラットフォームに対応しました。

以下の機能は、Solstice Pod Gen3 でのみ利用できます。

◆ **HDMI 入力経由の有線コンテンツソース**

Solstice Pod Gen3 の前面にある HDMI 入力を介して、書画カメラや DVD デッキなど、ネットワークに繋ぐことのできないコンテンツを Solstice ディスプレイで共有できます。

◆ **デュアルディスプレイサポート(HDMI2 出力)**

Pod から 2 台のディスプレイに映像を表示できるようになりました。2 画面への映像出力は、構成パネルまたは Dashboard から以下の設定を適用できます。

➤ **ミラーリング/Mirror (デフォルト)**

2 台のディスプレイに同じ映像を表示します。

➤ **拡張/Extend**

2 台のディスプレイをひとつの大きなディスプレイとして、コンテンツを両方のディスプレイで共有することができます。コンテンツは 2 台のディスプレイのどちらでも自由に配置することができますが、2 台のディスプレイをまたがる形での投射はできません。コンテンツがディスプレイをまたがる必要がない、2 台のディスプレイが離れて設置されている環境などで利用できます。

➤ **シームレス拡張/Seamless Extend**

2 台のディスプレイをひとつの大きなディスプレイとして、コンテンツを両方のディスプレイで共有することができます。コンテンツは、2 台のディスプレイのどちらでもじゆうに配置することができ、2 台のディスプレイをまたがる形での投射も可能です。2 台のディスプレイ間に傾斜や継ぎ目がないビデオウォールシステムや、プロジェクター利用に推奨されます。

◆ **4K ディスプレイサポートおよびストリーミング**

解像度を下げることなく、4K デバイスから単一の 4K ディスプレイへのストリーミングコンテンツをサポートします。

重要：サポートされる 4K ディスプレイは 1 台だけです。デュアルディスプレイは 1080p でレンダリングされます。

◆ **PoE+対応**

従来の電源アダプタの代わりに、PoE+による給電に対応しました。

◆ **ストリーミング改善のための処理能力の向上**

- **スプラッシュ画面のウェルカムメッセージのカスタマイズ**

Solstice Pod のスプラッシュ画面に表示されるウェルカムメッセージをカスタマイズできるようになりました。メッセージのカスタマイズは Dashboard 上からリッチテキストエディタで編集することができます。編集画面では[INTERNAL]のように括弧内にネットワーク名を含めることによって、動的に IP アドレスを表示することができます。

- **オープンコントロール API のアップデート**

外部から Solstice Pod をコントロールするオープンコントロール API が実装されました。

本バージョンで実装された API は次のとおりです。

- ・Solstice Pod 本体のワイヤレスネットワークのパスワード変更
- ・ファイアウォールの設定変更
- ・カレンダー機能の設定
- ・Solstice Ink 機能のオン/オフ切り替え

セキュリティアップデート

Solstice Pod の重要なセキュリティアップデートが行われました。

(最新版へのアップデートを推奨します)

修正点と機能強化

- **ユーザビリティの向上**

一般的なユーザビリティの向上が行われました。

- **タイムサーバ機能の修正**

タイムサーバに接続できなくなった場合、直前の確認された時刻を保持するようになりました。

(ただし、一度 Solstice Pod を再起動すると、時刻情報はクリアされ、タイムサーバに接続するか構成パネル上で手動設定するまで、正しい時刻は表示できません)

Solstice Dashboard リリースノート

- **スプラッシュ画面のウェルカムメッセージのカスタマイズ**

Solstice Pod のスプラッシュ画面に表示されるウェルカムメッセージをカスタマイズできるようになりました。メッセージのカスタマイズは Dashboard 上からリッチテキストエディタで編集することができます。編集画面では[INTERNAL]のように括弧内にネットワーク名を含めることによって、動的に IP アドレスを表示することができます。

● デュアルディスプレイオプション

Solstice Pod Gen 3 が 2 台のディスプレイに同時に接続されている場合は、Solstice タッチボードで次のデュアルディスプレイモードを設定できます（[外観と使用法]タブ> [ディスプレイオプション]）。

注意：クラシックスプラッシュスクリーンモードは、拡張またはシームレス拡張ではサポートされていません。

➤ ミラーリング/Mirror (デフォルト)

2 台のディスプレイに同じ映像を表示します。

➤ 拡張/Extend

2 台のディスプレイをひとつの大きなディスプレイとして、コンテンツを両方のディスプレイで共有することができます。コンテンツは 2 台のディスプレイのどちらでも自由に配置することができますが、2 台のディスプレイをまたがる形での投射はできません。コンテンツがディスプレイをまたがる必要がない、2 台のディスプレイが離れて設置されている環境などで利用できます。

➤ シームレス拡張/Seamless Extend

2 台のディスプレイをひとつの大きなディスプレイとして、コンテンツを両方のディスプレイで共有することができます。コンテンツは、2 台のディスプレイのどちらでもじゆうに配置することができます。2 台のディスプレイをまたがる形での投射も可能です。2 台のディスプレイ間に傾斜や継ぎ目がないビデオウォールシステムや、プロジェクター利用に推奨されます。

ソフトウェアアップグレードの可用性と要件

Solstice Ver.4.0.11766 ソフトウェアへのアップデートは、以下の製品で利用できます。

- Solstice Pod
- Solstice Dashboard
- 各デバイス向けの Solstice アプリ

Solstice Pods を最新の 4.0 バージョンにアップグレードするには、Solstice サブスクリプションが必要です。Solstice Ver.4.0(11766)ソフトウェアへのアップデートについて、Solstice Pod 本体がインターネットに接続されている場合は、構成パネルまたは Dashboard から直接アップデートが可能です。インターネットに接続されていない場合は、Mersive 社の Web ページからアップデートファイルをダウンロードし、PC からアップデートすることができます。詳細は各種ドキュメントを参照してください